

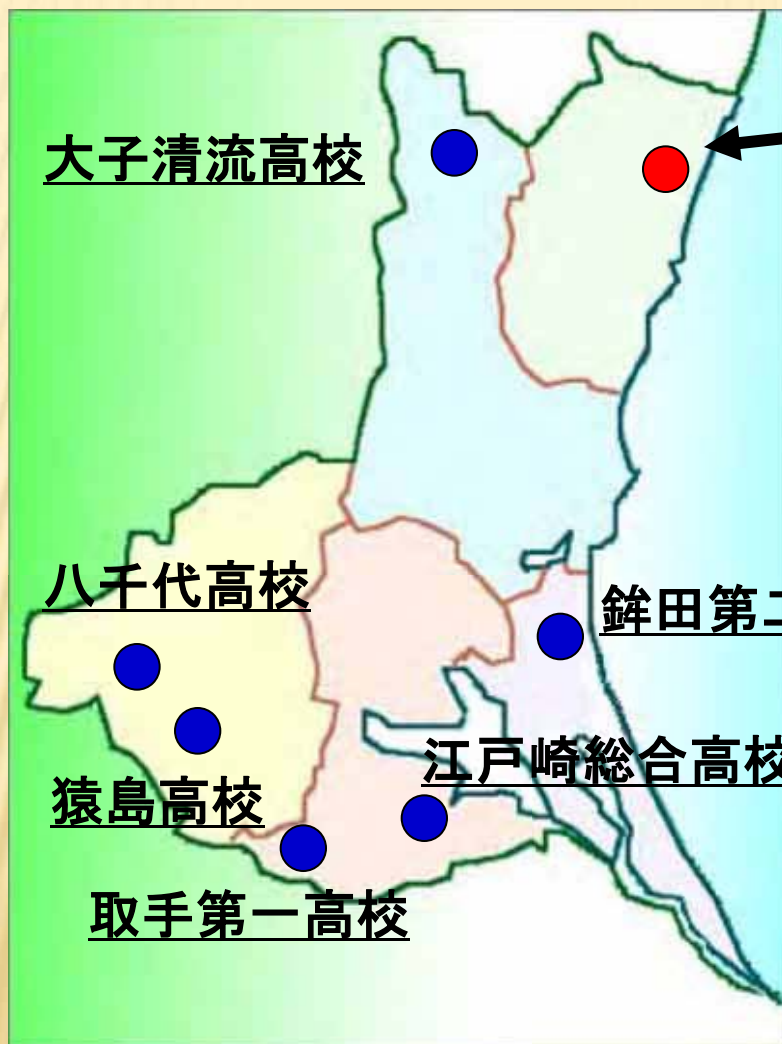
学校図書館経営と利用指導の実際

高萩清松高校 小 峰 幹 一

高萩清松高校について 1

- ◆ **場所**：高萩市赤浜 1 8 6 4
- ◆ **学科**：総合学科
- ◆ **校訓**：自ら学び 自ら創り 自ら拓く
- ◆ **募集定員**：200名
- ◆ **入試**：一般入試
推薦入試【3分野】
(学業・部活動・特別活動)

地図



高萩清松高校

通学方法

高萩駅より

徒 歩 40分

自 転 車 15分

バ ス 10分

校舍写真



系列棟



系列棟から特別棟を望む



図書室

高萩清松高校について 2

× 概要

高萩工業・高萩高校家政科・松丘高校が統合してできた単位制総合学科の高校。創立4年目を迎えた。松丘高校の校地を利用。1年次は必修科目を中心に学び、2年次より系列学習に分かれる。

× 系列について

◎人文科学系列

◎自然科学系列

◎機械テクノロジー系列

◎情報ビジネス系列

◎福祉・生活科学系列

の5系列。



福祉・生活科学系列

福祉系大学
福祉専門学校
就職



= 福祉・家政系

卒業後の主な進路先

就職

学校推薦就職
公務員（自衛隊）
縁故(含自己就

管内（高萩・北茨城）

- ・五浦観光ホテル
- ・大生工業
- ・扶桑薬品工業
- ・東邦工業社
- ・ニッソー樹脂
- ・日本ケミコン
- ・大石産業
- ・特養ホーム松籟荘

- ・日立電鉄
- ・佐々木興業
- ・根本機工
- ・特養ホーム銀砂台

など

県内（日立以南）

- ・茨交ホテルズ
- ・山新
- ・山崎製パン
- ・キャッ

など

セミコンダクターイクイップメント

日立市

- ・日立工業所
- ・日立電線
- ・日昌製作所
- ・EPエンジニアリング
- ・大村工業所
- ・日立茨城テクノロジーサービス

- ・佐川急便
- ・フジパングループ
- ・陸上自衛隊
一般曹候補生
二等陸士

など

系列授業風景 1（機械テクノロジー）



系列授業風景 2（福祉・生活科学）



系列授業風景 3（少人数クラス）



本校の図書室

× 特別棟3階中央

× 蔵書 18,722冊

+ 0 総記	871
+ 1 哲学	476
+ 2 歴史	1,992
+ 3 社会科学	1,801
+ 4 自然科学	1,490
+ 5 技術	956
+ 6 産業	308
+ 7 芸術	2,180
+ 8 言語	686
+ 9 文学	6,251
+ その他	1,711

× 座席数 40席

× 専用コンピュータ 2台

× 開館 月～金

× 利用時間

+ 昼休み 12:35～13:15

+ 放課後 15:30～17:00

× 利用冊数 原則3冊

× 貸し出し期間 1週間以内

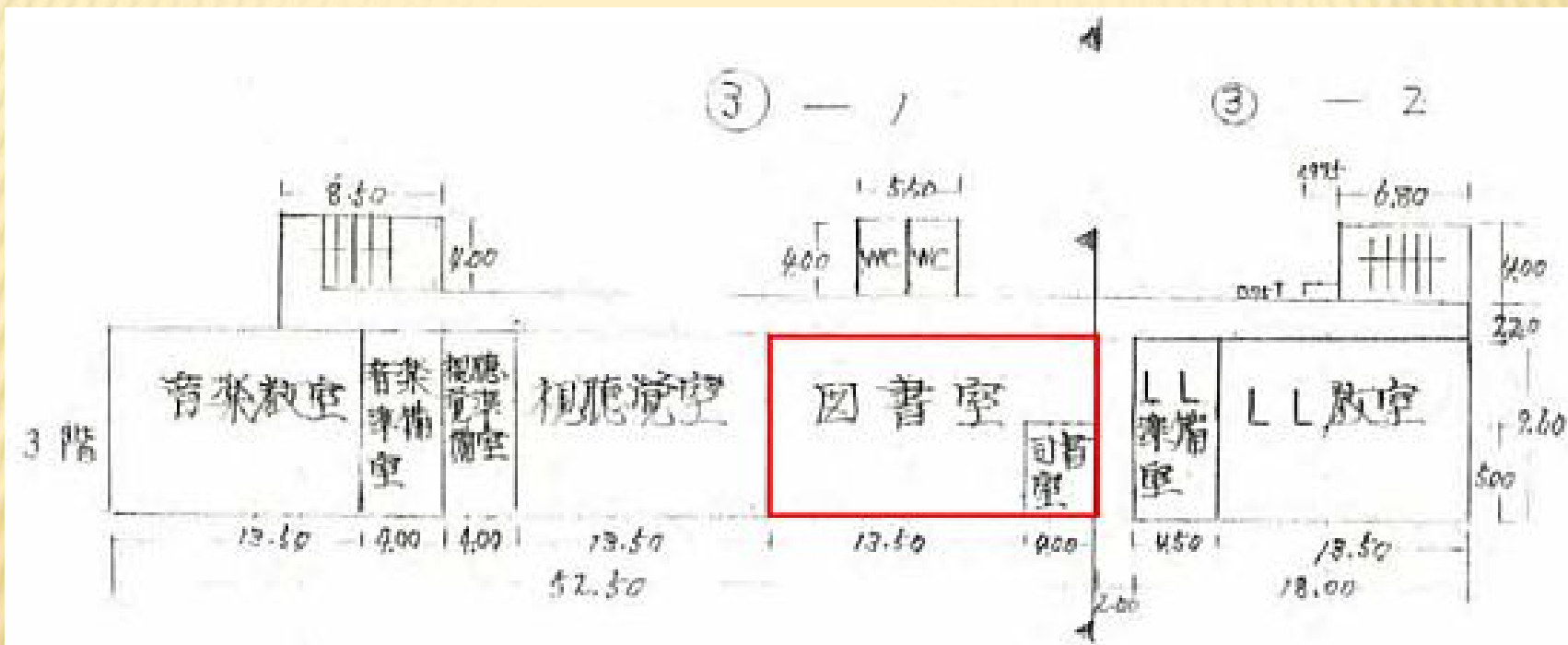


図書室利用状況について

× 本年度の利用状況

	貸出数 (冊)	1日平均	来館者数 (人)	1日平均	開館日 (日)
4月	204	12.0	227	13.4	17
5月	169	9.4	289	16.1	18
6月	234	10.6	368	16.7	22
7月	136	8.5	316	19.8	16
8月	54	2.7	156	7.8	20
9月	154	8.6	191	10.6	18
合計	951	8.6	1547	13.9	111

図書室のレイアウト



面積 129.6 m²
 (うち司書室 20 m²)

おすすめ図書コーナー



新着図書コーナー



入り口から入って左側です。

日本文学コーナー



ティーンズ向けの文庫



雑誌コーナー



文学全集など



閲覧しやすい場所に配置

視聴覚資料ライブラリ



図書室の風景 1



図書室の風景 2



高萩工業から大きな書架を移設したため、
収納力が上がりました

図書館の管理 1



図書管理 2

個人の貸し出しカードも図書室で一括管理しています



新着図書の登録のようす

生徒との活動

- × カウンター当番
 - + 昼 各クラス図書委員
 - + 放課後 図書部の教員

→ ・ 駅から遠い ・ 学校バスで下校したい ・ 課外授業があるなどの理由から、生徒の放課後の活動が難しい。
- × 朝の10分間読書の準備
- × 壁新聞作成補助
- × クラスマッチでの得点集計業務 など

とりくみと現状 1

× 目 標

+ 図書館利用の増進

- × 生徒の希望図書を拡充し，図書館の利用率を向上させる。
- × 快適な環境での図書室の利用を実現する。
- × 図書委員会の活動を活発にする。
- × 学級文庫をとおして，読書に親しみ楽しむ生徒の増加を図る。
- × 魅力ある図書館の雰囲気をつくる。

+ 視聴覚教材の活用

- × 授業等における視聴覚教材の活用を推進する。

とりくみと現状2

× 年間行事

- + 図書室利用ガイダンス（4月）

- 新入生に対して実施。

- + 朝の10分間読書（6月・12月）

- 年間2回、それぞれ1週間行っている。

- 図書委員が学級の人数分の本を学級文庫として選定。
期間終了後、図書室に返却。

× 各教科の授業との連携

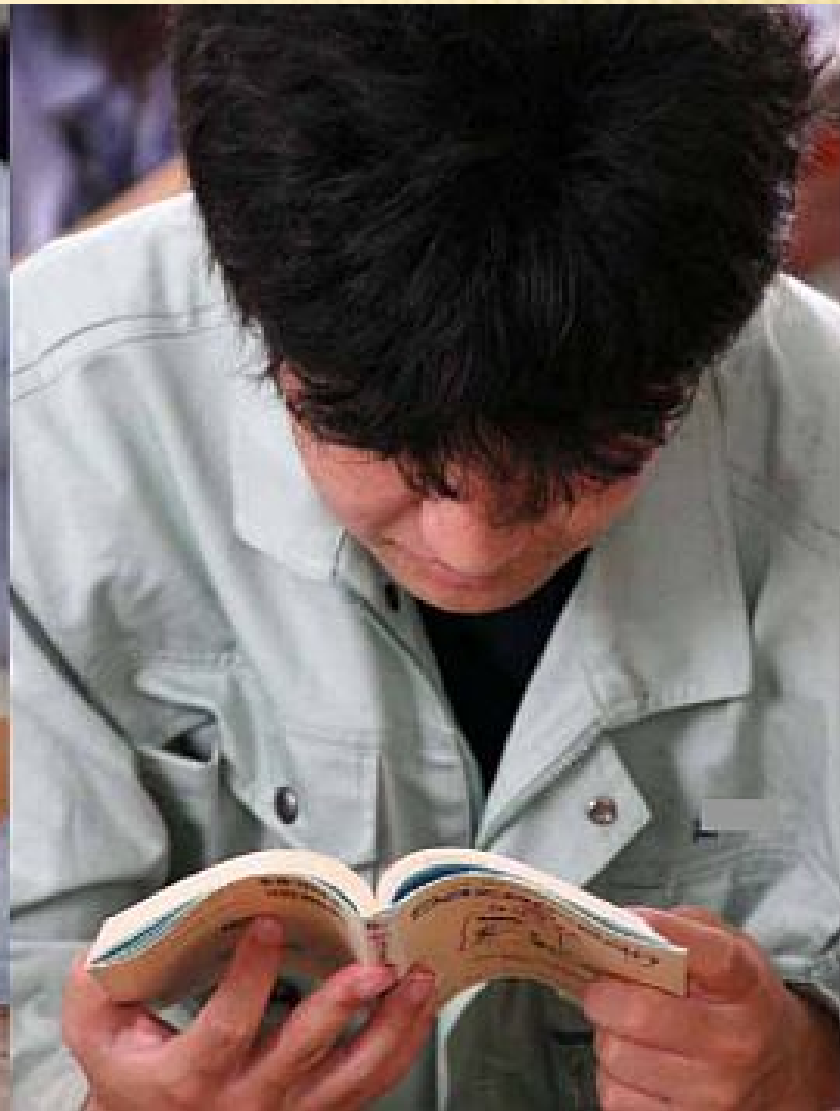
- + 教科担当から申し出があれば随時

- 調べ学習＝コンピュータ室という流れもある

- + 視聴覚教材の活用

- 各教科で購入したものや私物を活用することも多い

朝の10分間読書のようす



とりくみと現状 3

× 壁新聞

→本館の階段踊り場 2 か所に掲示。
新しく入った本を紹介。

× 図書館だより

→月 1 回発行。毎月違う先生が、自分の読書体験を含めて、おすすめの一冊を紹介。

壁新聞 10月号

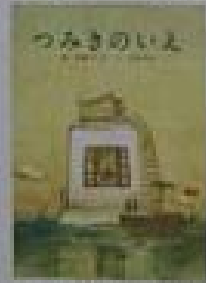


<p>10月10日(日) 10時～12時 10月11日(月) 10時～12時 10月12日(火) 10時～12時 10月13日(水) 10時～12時 10月14日(木) 10時～12時 10月15日(金) 10時～12時 10月16日(土) 10時～12時 10月17日(日) 10時～12時 10月18日(月) 10時～12時 10月19日(火) 10時～12時 10月20日(水) 10時～12時 10月21日(木) 10時～12時 10月22日(金) 10時～12時 10月23日(土) 10時～12時 10月24日(日) 10時～12時 10月25日(月) 10時～12時 10月26日(火) 10時～12時 10月27日(水) 10時～12時 10月28日(木) 10時～12時 10月29日(金) 10時～12時 10月30日(土) 10時～12時 10月31日(日) 10時～12時</p>	<p>10月10日(日) 10時～12時 10月11日(月) 10時～12時 10月12日(火) 10時～12時 10月13日(水) 10時～12時 10月14日(木) 10時～12時 10月15日(金) 10時～12時 10月16日(土) 10時～12時 10月17日(日) 10時～12時 10月18日(月) 10時～12時 10月19日(火) 10時～12時 10月20日(水) 10時～12時 10月21日(木) 10時～12時 10月22日(金) 10時～12時 10月23日(土) 10時～12時 10月24日(日) 10時～12時 10月25日(月) 10時～12時 10月26日(火) 10時～12時 10月27日(水) 10時～12時 10月28日(木) 10時～12時 10月29日(金) 10時～12時 10月30日(土) 10時～12時 10月31日(日) 10時～12時</p>
--	--



第1回 読書祭
11月6日(金)

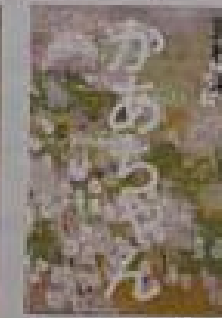
〈今月のプラチナ本〉



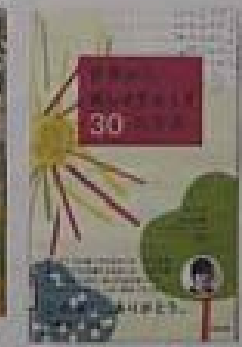
まるで静かにおうた
家、海面がとんとんへ
上がるとおと響き上
へと響き増し、絶け
きました。そんな空に住
てもおにいさんと空
とを繋ぐおとが、



お江中にも有名な船
問屋の若木は、船物
が好き。身回りも世話
する人の重荷は、実は
お江中にも...



生まれてきた瞬間、
いちばんそばにいて
くれるか。一歩もた
のあついで、僕は
ひとりぼちではあり
ません。重松清が
初めて描く母と娘の
物語。



百回のない世界をつ
るための何ができるの
想ふにも思ふ方なの
その方法、思ひで行
動でつながるその時
は...



働きたいときに
働く権利、働く時間、
おしえて、ぼくらが
持っている働く権利
健康、安全衛生
労働法、労働
関係者です。

図書室に関するアンケート

- × 図書室利用の実態を知るため行った。
- × 公共図書館の利用状況も聞いてみた。
→利用目的に差があるかどうかを知ることで
図書室に求められている役割を探ってみた。
- × 図書室への思いを知りたかった。
→図書室のイメージ・要望など、漠然と聞く
ことで本音が聞けるのでは、と考えた。

アンケート結果からの考察 1

- × 年次が上がると、放課後利用が増える。
 - 1年次ではシェルターとしての役割も...
5の利用目的で「癒し」が多いのも1年次
- × 固定メンバーによる利用が読み取れる。
 - 1が「はい」だと3も「はい」が多かった
- × 図書室より公共図書館で本を借りている。
 - 図書室で借りている人は固定しており、同じ人が何冊も借りているという現状
 - 国語科の夏の宿題「読書感想文」対策で公共図書館を利用？＝借りるという明確な目的を持って図書館へ行っている、とも考えられる

アンケート結果からの考察2

× 図書室への思い

→ 65の回答（除：特になし、など）約19%

× プラスの思いが多かった約54%

→ マイナスは12% 残り34%は要望

× まんがを増やしてほしい、が多かった

→ まんがに対する図書室のポリシーが必要

本校：「読書の入り口」としてのまんが

= 歴史や文学と関係の深いものを配架

今後の課題

- × 利用する生徒の拡大を目指して
 - + 図書室常連生徒を核に、活動を深化（楽しい行事）
 - + 委員会活動の活性化（常連生徒を巻き込む）
 - + 購入希望図書アンケート活用促進（朝読と連携）
 - + 魅力的な作品の情報を発信し続ける
- × 先生方同士の情報交流の場としての図書室
 - + 職員読書会（ブックトーク形式）を提案したい
 - 面白かった本を持ち寄って紹介しあう
 - 教科を超えた意見交換
 - 図書室活用のきっかけに（魅力的な作品の発掘）
- × 図書室の機能向上のためのチェックを行う
 - + 「学校図書館問題研究会」作成チェックリストを参考に

リンク集

- × 文部科学省（学校図書館のページがあります かなり深いところに）

<http://www.mext.go.jp/>

- × 全国学校図書館協議会

<http://www.j-sla.or.jp/>

- × 学校図書館問題研究会

（2008年私たちの課題・学校図書館活動チェックリストなど）

<http://homepage3.nifty.com/gakutoken/>

- × 日本学校図書館学会

（司書教諭の現状と意識の実態H16 など）

<http://www.jssls.jp/>

- × JLA日本図書館協会

<http://www.jla.or.jp/>